

国立・私立中学校入試について

国立・私立中学校の入試では、同等レベルの学校であっても入試傾向は学校によって様々です。入試問題には各学校ごとに特色があります。

私立中学校の場合、出題傾向や設問数は毎年大幅には変わりません。変更がある場合は、説明会などで事前に告知があることがほとんどです。



ポイントと活用法

POINT 1 志望校の入試傾向を把握しよう

東京学参の過去問には、**年度別の出題内容の分析表**が掲載されています。頻出順に3段階で表示しているので、学校ごとの入試傾向が一目でわかります。

POINT 2 問題を分析しよう

東京学参の過去問には、**出題傾向と対策**が掲載されています。また、解説には「基本・重要・やや難」の分類マークがついています。これらを活用すれば問題分析もスムーズに行えます。

POINT 3 基礎・基本を固めたら苦手な分野を強化しよう

東京学参の過去問には**特集ページ「合否を分けた問題の徹底分析」**が掲載されています。また、一部タイトルでは以下のサービスに対応しています。これらを活用することでより深く入試対策をすることができます。

+α 対応 — 算数の解説最大過去3年分の+αをダウンロードして使えます。

famima
PRINT

— 入試本番とほぼ同じサイズの解答用紙を、全国のファミリーマートに設置しているマルチコピー機のファミマプリントで購入いただけます。
※一部の店舗で取り扱いがない場合がございます。詳細はファミマプリント(<https://fp.famima.com/>)をご確認ください。



公立中高一貫校入試について

公立中高一貫校の入試では科目が分かれておらず、「適性検査」という形式で入試が行われます。また、開校されたばかりの学校も多く、出題傾向は形式化されていません。



ポイントと活用法

POINT 1 問題の分析をしよう

東京学参の過去問には、**出題傾向の分析と合格への対策**が掲載されています。また、解説に「基本・重要・やや難」の分類マークがついています。これらを活用することで問題分析がスムーズに行えます。

POINT 2 筋道立った解法を知り、身につけよう

東京学参の過去問は、学校からの公式解答がない問題についても**解答例と解説**を作成して掲載しています。豊富な解説で、解法が理解でき身につきます。

POINT 3 時間配分を意識し、実戦演習をしよう

東京学参の過去問に**実戦対応仕様**で収録している解答用紙はホームページからダウンロードできます。QRコードからアクセスし、簡単にダウンロードできるので、繰り返しの演習にも適しています。

